

6 AI（人工知能）を活用した予測に基づく治安対策

1 AI（人工知能）を活用した予測に基づく治安対策に係る支援

【提案内容】

提出先 内閣府

AIを活用した犯罪・交通事故発生予測システムを開発・導入することにより、限られた警察力を効率的に運用し、強力に治安対策を推進していくため、官民研究開発投資拡大プログラム(PRI SM)のターゲット領域へ治安対策分野を追加すること。

◆現状・課題

これまで、体感治安を向上させるべく、神奈川版コムスタットを活用した犯罪及び交通事故の発生分析に基づく治安対策により、刑法犯認知件数や人身交通事故の発生件数を大幅に減少させてきたところであるが、体感治安を向上させるためには、更なる決め手となる対策の創出が喫緊の課題となっている。

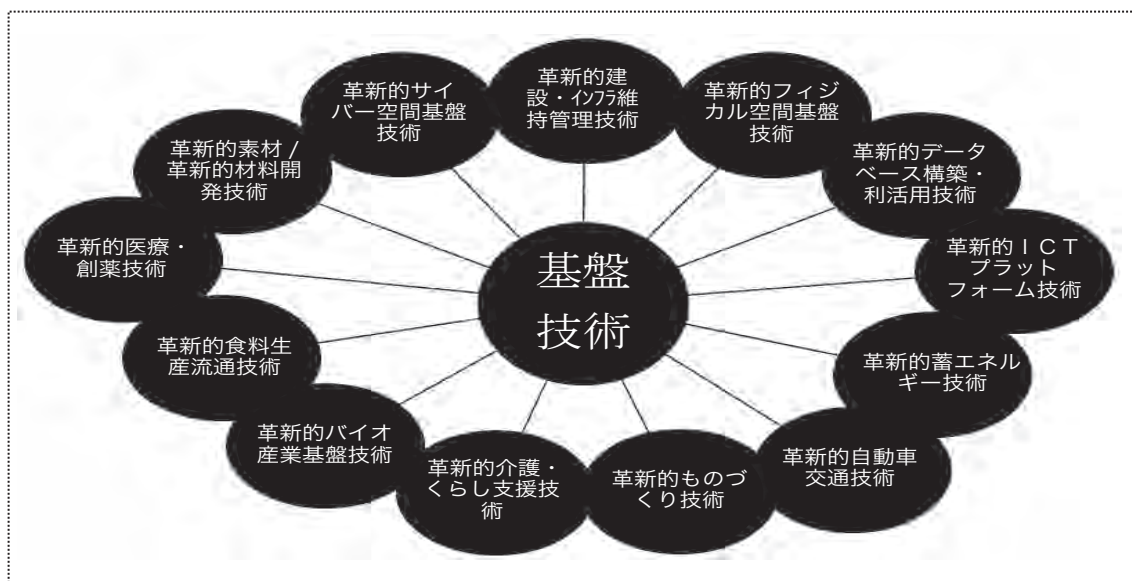
そこで、県警察では全国に先駆け、各分野において飛躍的な効果をもたらしているAIを治安対策に導入することによる効果や課題を調査研究するための平成30年度県予算の措置を受け、警察庁からの技術支援等を受けながら事業を進めているところである。

一方、国では内閣府主導の下で官民研究開発投資拡大プログラムが創設され、経済社会・科学技術イノベーション活性化事業を推進している中、本事業の対象となるターゲット領域に治安対策分野が盛り込まれておらず、現状では人的・予算的な支援を受けることができない。

◆実現による効果

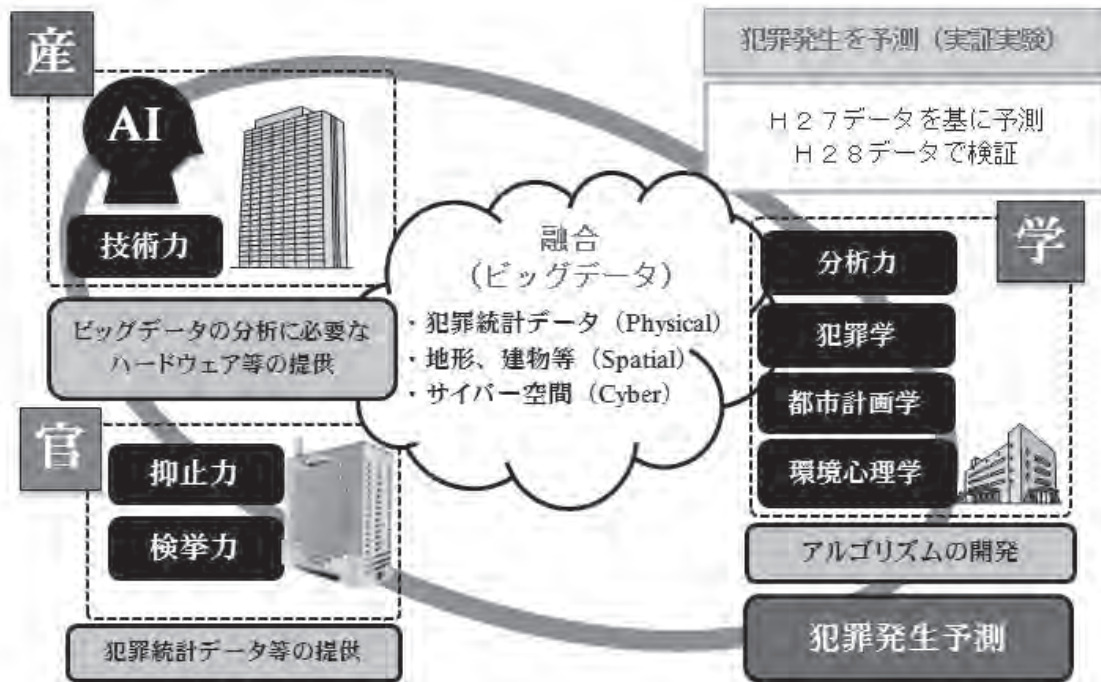
官民研究開発投資拡大プログラムのターゲット領域に治安対策分野が追加され、より高度のAIを活用した犯罪・交通事故発生予測システム構築が実現されれば、警察活動の効率化が図られ、それにより、県民の体感治安の向上にもつながる。

[官民研究開発投資拡大プログラムの既存ターゲット領域]



(内閣府「官民研究開発投資拡大プログラムについて」を基に作成)

[調査研究イメージ図]



(神奈川県作成)

[運用開始に向けた今後のスケジュール]

- (1) 調査研究期間
平成30年6月から平成31年3月31日まで
- (2) 予算要求 (構築作業)
平成31年度
- (3) 構築・試行開始
平成32年度

内容	平成29年度		平成30年度											
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
①意見招請	→													
②入札・評価			→											
③契約・調査研究					→									

内容	平成31年度	平成32年度	平成33年度～	
④システム評価・予算要求	→			
⑤システム改修		→		
⑥試験運用		→		
⑦運用開始			→	

(神奈川県担当課：警察本部生活安全総務課)